



MS334-10001/2

革調シートカバー

取付・取扱要領書

この度はTRD 革調シートカバーをお買い上げ頂きありがとうございます。
 本書には上記商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
 取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
 なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録者への取付けは出来ません。必ず車両登録後に行ってください

■品番・適合一覧表

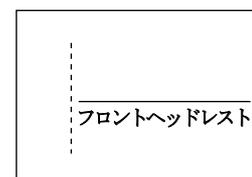
品番	適合	備考
MS334-10001/2	C-HR '16.12~	

■構成部品

①Frヘッドレストカバー RH/LH 	②Frシートバックカバー RH/LH 	③Frシートクッションカバー RH/LH 		
④Rrヘッドレストカバー (サイド) 	⑤Rrヘッドレストカバー (センター) 	⑥Rrシートバックカバー 		
		⑦Rrシートクッションカバー 		
⑧リヤシートクッションロックフック 	⑩EXGELパッド [®] 腰 	⑫調整パッド [®] (5mm厚) 	⑭取付・取扱要領書 No.1610 -T1473001	⑮取扱書 No.1611 -T1482001
⑨樹脂板 (シートカバー押し込み用具) 	⑪調整パッド [®] 収納袋 	⑬調整パッド [®] (10mm厚) 		

例)

各パーツ名称はカバー裏のラベルにてご確認ください



取り扱い上のご注意（ご使用になる作業の方へ）

取り付けになる前に必ずお読みいただき、正しいお取扱いをお願い致します。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。



注意

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと人が傷害を受けたり、物的損害の可能性のある内容について書かれています。



アドバイス

スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。



警告

フロントシートバックには、全車標準にてSRSサイドエアバッグが装着されているため、革調シートカバーを正しく取り付けないと衝突したときなどにSRSサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及ぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあり危険です。



注意

1. 革調シートカバーの取り付け時に革調シートカバーの付属等が可動部分（シートスライド、リクライニング機構等）に掛からないように注意してください。
2. ガーニッシュやボード等で手を挟まないよう、取り付けを行ってください。
3. 革調シートカバーを装着/脱着する際にシートレールやシートフレーム（シートの土台部分）には、シャープエッジがあるため、けがをしますおそれがありますので、十分に注意して行ってください。
4. フロントシートバック用のカバーはSRSサイドエアバッグ対応用の特殊縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグ展開部）特殊縫製系が切れない様な装着をお願い致します。無理な力（強く引っ張るなど）が掛かると特殊縫製系が切れるおそれがありますので、十分に注意して装着してください。
5. 作業を開始する前に必ず保護メガネを着用してください。ゴムの跳ね返りにより、受傷のおそれがあります。
6. 取り外した部品は傷付き防止の為、保護シートの上で作業を行ってください。



アドバイス

1. フィット性を重視している為に多少力を入れて装着していただく必要があります。
2. シートとガーニッシュの間など、手の入りにくい場所へカバーを押し込む際には、付属の樹脂板を使用してください。
3. シートカバーの各パーツには、パーツラベルが付いています。取付け部位を間違えないように注意して取り付けてください。
4. 以降は右側シートの作業要領を示しますが、特に記載のない限り左側シートも同様に作業を行ってください。
5. 車両シート形状に合わせてシートカバーを被せてください。

取り付けに必要な工具等

保護メガネ

取り付け要領

【フロントシートカバーの取り付け】

□フロントヘッドレストカバーの取り付け

【形状図】

前側

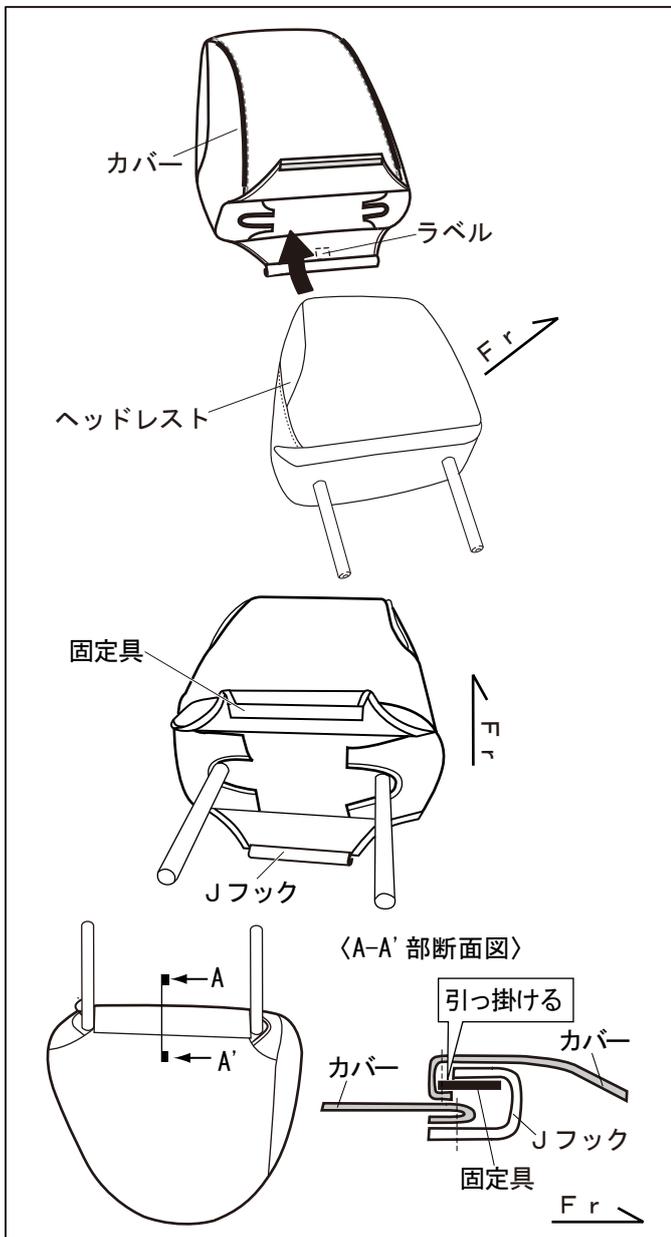
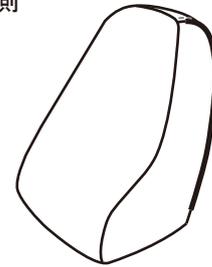
固定具

Jフック

ラベル

ラベルの記載
『フロントヘッドレスト』

後側



1. 車両からヘッドレストを取り外す。

2. ラベルを確認し、①カバーをヘッドレストの形状に合わせて被せる。

3. ①固定具をJフックに引っ掛ける。

⚠ 注意

シートバックにカバーを取り付けた後、ヘッドレストを元に戻してください。

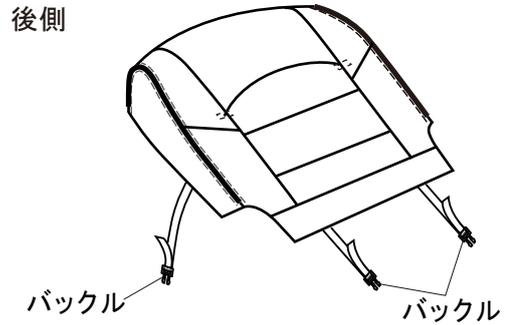
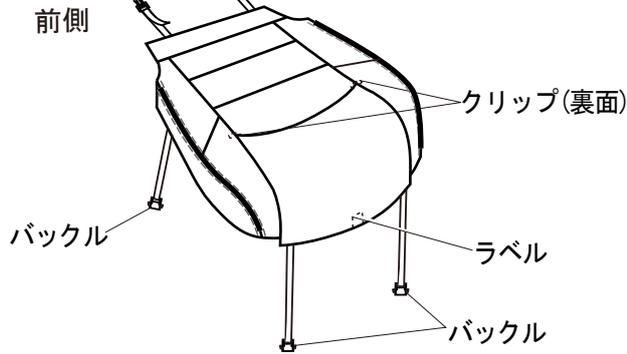
□フロントシートクッションカバーの取り付け

【形状図】

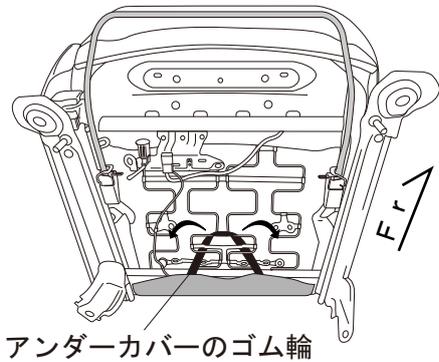
ラベルの記載

右側席：『シートクッション ドライバー』

左側席：『シートクッション アシスタント』

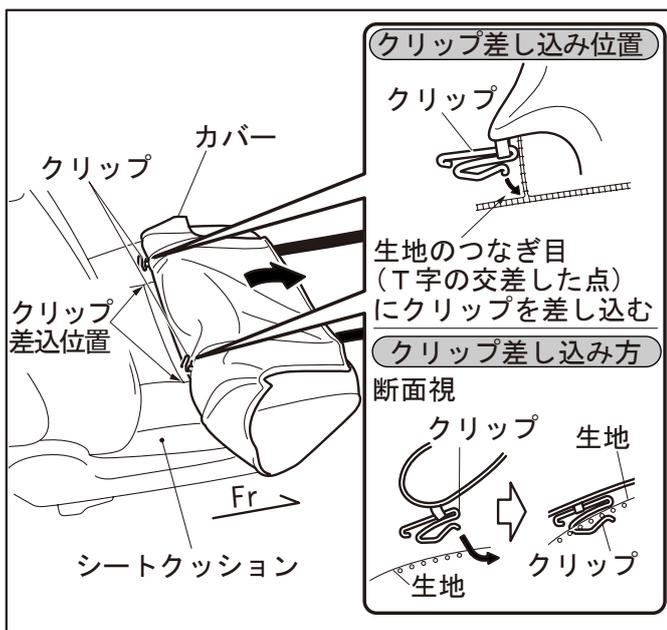


〈シートクッション裏側図〉



左図は右側シートの説明ですが、左側シートも同じ要領にて取り付けてください。

1. シートバック・シートクッションに③カバーを取り付ける前に、アンダーカバーのゴム輪をシートクッション裏側より外してください。
2. シートリフターにてシートクッションを一番上まで上げる。
※左側シートにシートリフターはありません。
3. ラベルを確認し、③カバーをシートクッションに仮で被せ、③カバー裏側のクリップが見える位置までめくる。
4. ③カバーのクリップ(2ヶ所)を、シートクッション生地をつなぎ目(T字の交差点)に差し込む。

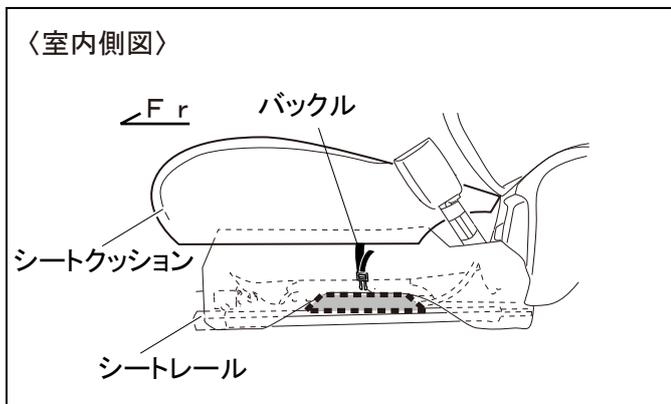


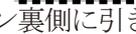
⚠ 注意

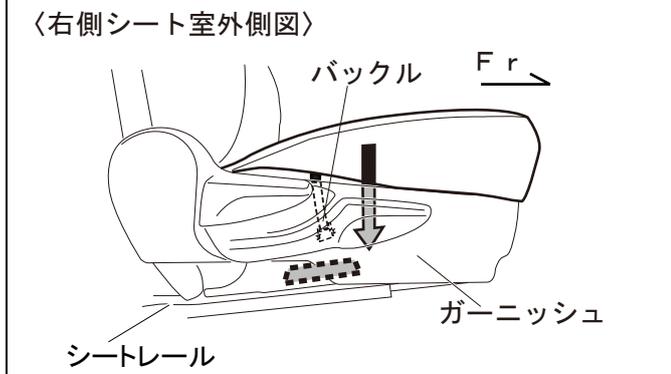
1. クリップは、カバーのフィット性向上の為、必ず図に従い、固定してください。
2. クリップをシート生地をつなぎ目(T字の交差点)に差し込む際は、無理に生地をつなぎ目に押し込まないでください。また、クリップでシート生地を傷めないよう注意してください。



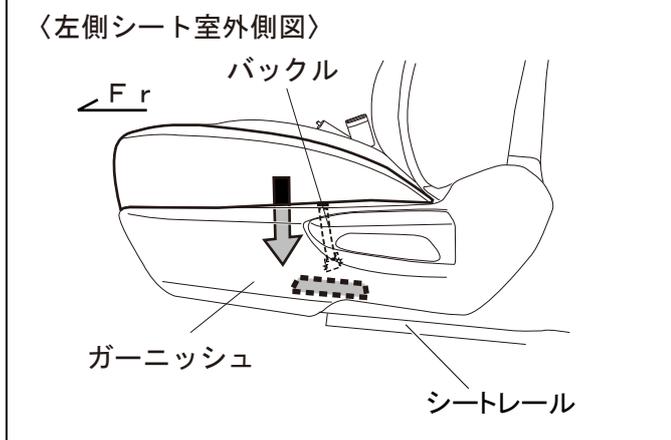
5. シートバックとシートクッションの間から、
③カバーとバックル(2ヶ所)を押し込み、後ろへ引き出す。



6. 室内側のバックルをシートクッションとシートレールの上に押し込み (図中  のスペース)、シートクッション裏側に引き込む。



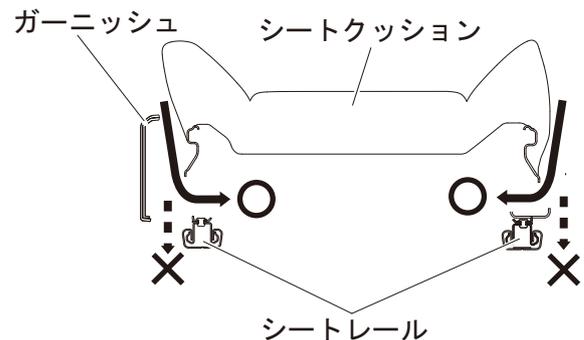
7. 室外側のバックルを付属の⑨樹脂板を使用し、シートクッションとガーニッシュの間に押し込み、シートレール上を通し (図中  のスペース) シートクッション裏側に引き込む。



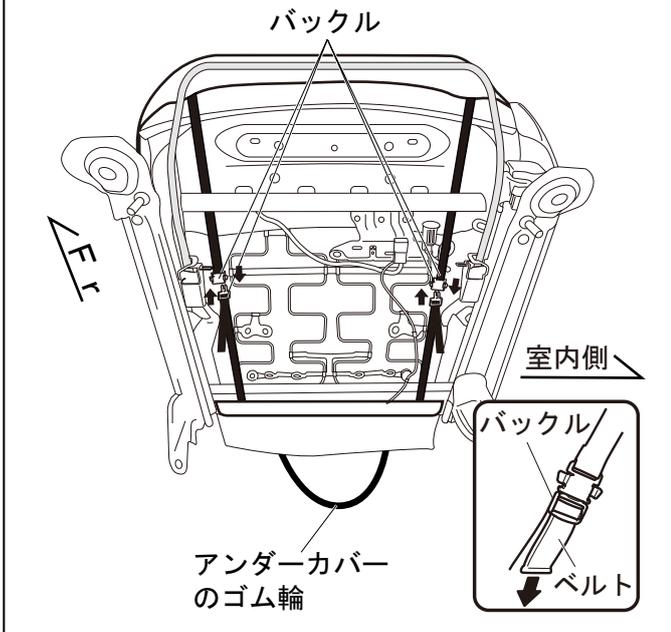
⚠ 注意

バックル及びベルトは、車両シートレールの上側を通してください。(下図参照)

【バックル通し位置断面視】

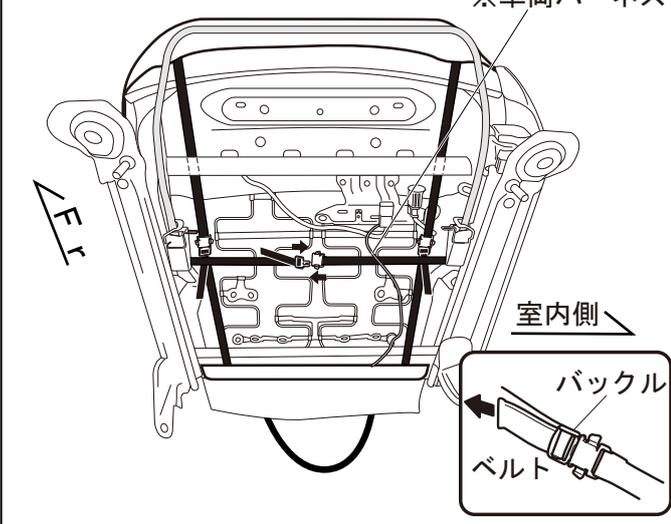


〈シートクッション裏側図〉



8. 前後のバックル(4ヶ所)を嵌合し、ベルトを引いて締める。

〈シートクッション裏側図〉



9. 左右のバックル(2ヶ所)を嵌合し、ベルトを引いて締める。

⚠ 注意

- ・カバーのバックル及びベルトは、図中※で示す車両ハーネス及びシートフレームの上側を通してください。
- ・左記の絵は、分かり易い様にシートを外した状態を表記しています。シートを外して付けないようにしてください。

□フロントシートバックカバーの取り付け

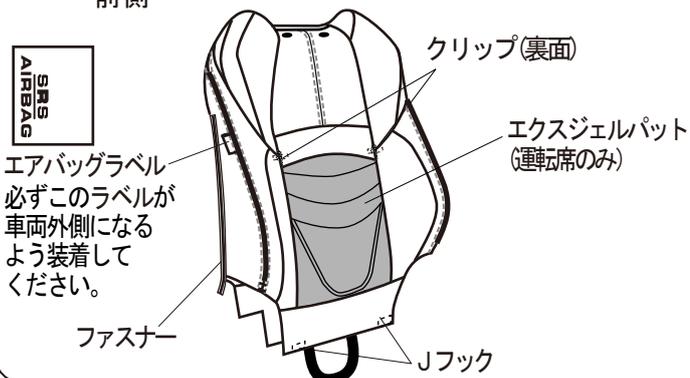
【形状図】

ラベルの記載

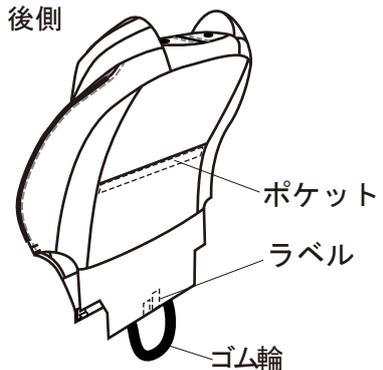
右側席：『フロントシート ドライバー』

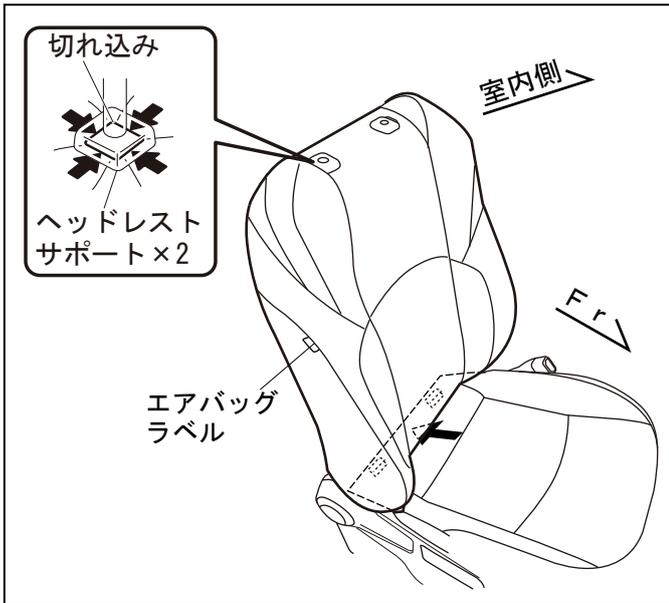
左側席：『フロントシート アシスタント』

前側



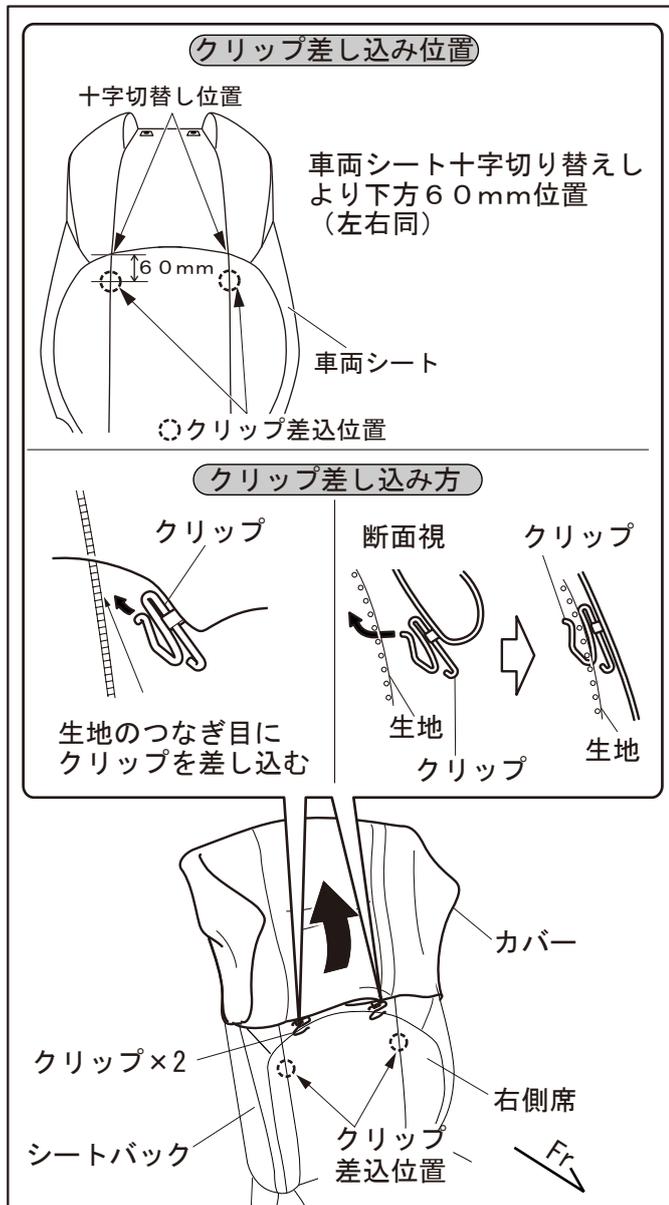
後側





左図は右側シートの説明ですが、左側シートも同じ要領にて取り付けてください。

1. ラベルを確認し、エアバッグラベルが室外側になるように、②カバーをシートバックに仮で被せる。
2. ヘッドレストサポートの下に②カバーを押し込む。

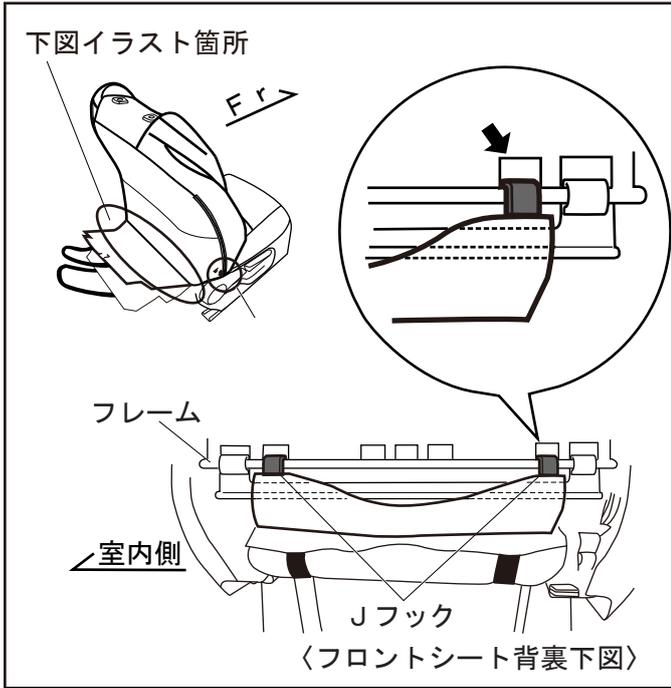


3. ②カバー下端を、②カバー裏側のクリップが見える位置までめくる。
4. ②カバーのクリップを、シートバック生地をつなぎ目（車両シート十字切り替えしより下方60mm位置）に差し込む。（左図参照）

⚠ 注意

1. クリップは、カバーのフィッティング性向上の為、必ず図に従い、固定してください。
2. クリップをシート生地をつなぎ目に差し込む際は、無理に生地をつなぎ目に押し込まないでください。また、クリップでシート生地を傷めないよう注意してください。

5. シート形状に合わせて、②カバーを全体に少しずつ下に被せていく。



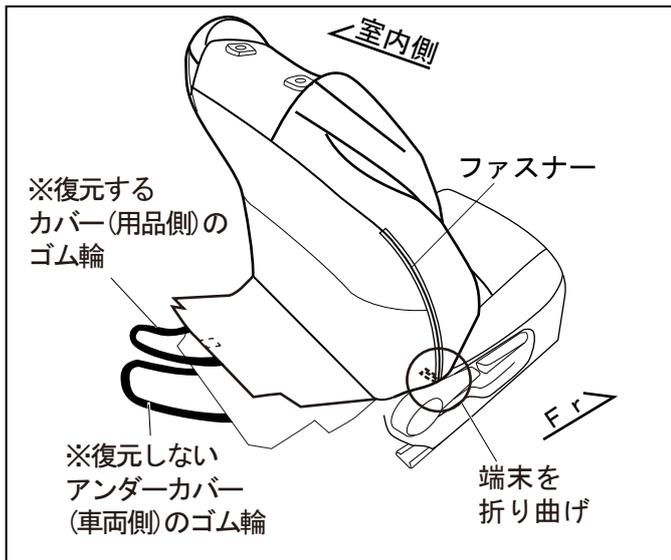
6. アンダーカバーをめくり、Jフック(2ヶ所)をシート本体の樹脂フレームにかける。

アドバイス

Jフックは少し広げるとフレームにかけやすくなります。

広げる

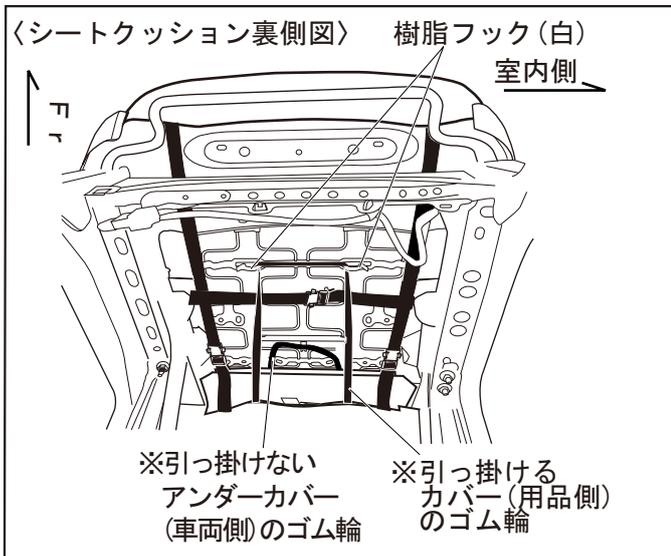
Jフック



7. 室外側のファスナーを閉め端末をカバー内側へ折り曲げる。

注意

アンダーカバー(車両側)のゴム輪は、復元しないでください。
その際にアンダーカバー(車両側)のゴム輪が垂れ下がらないように、カバーの内側に折り込んでください。



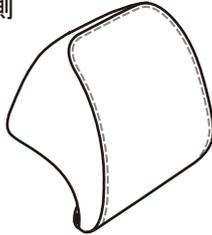
8. ゴム輪(1ヶ所)をシートクッション裏側にあるシート樹脂フレームにかける。

【リヤシートカバーの取り付け】

□リヤヘッドレストカバーの取り付け

【形状図】

前側

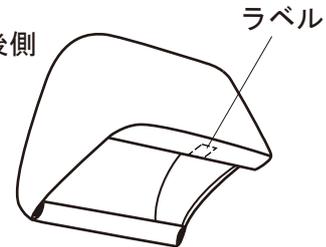


ラベルの記載

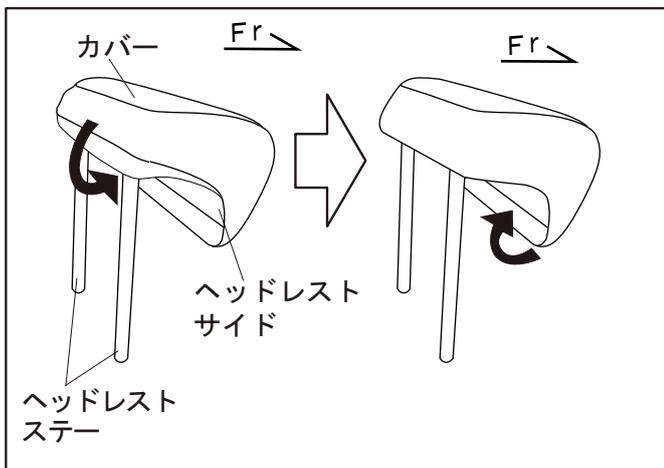
『セカンドヘッドレスト サイド』

『セカンドヘッドレスト センター』

後側



ラベル



サイド/センター 共通

1. 車両からリヤヘッドレストを取り外す。
2. ラベルを確認し、リヤヘッドレスト車両後方側より④⑤カバーを被せる。
3. ④⑤カバー前端をリヤヘッドレストに被せる。

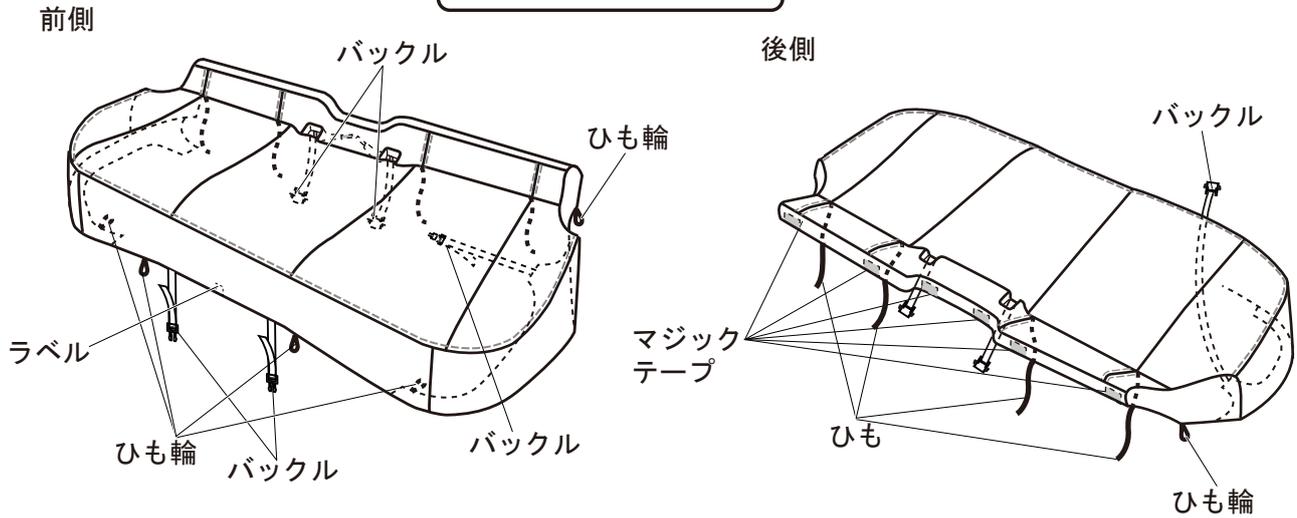
⚠ 注意

リヤシートバックにカバーを取り付けた後、リヤヘッドレストを元に戻してください。

2. リヤシートクッションカバーの取り付け

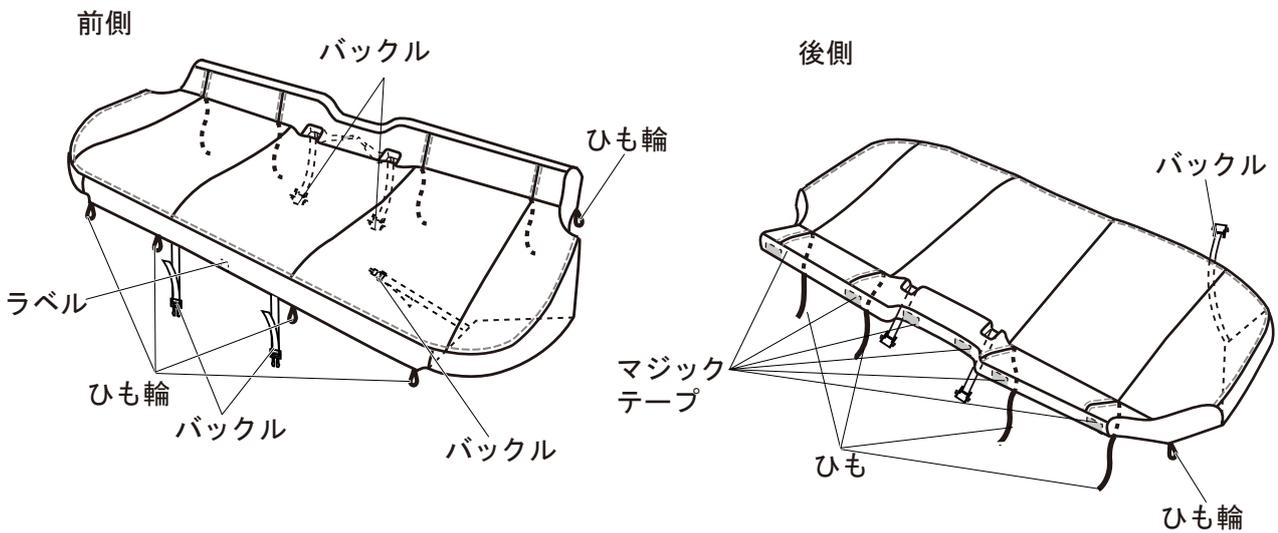
【形状図】

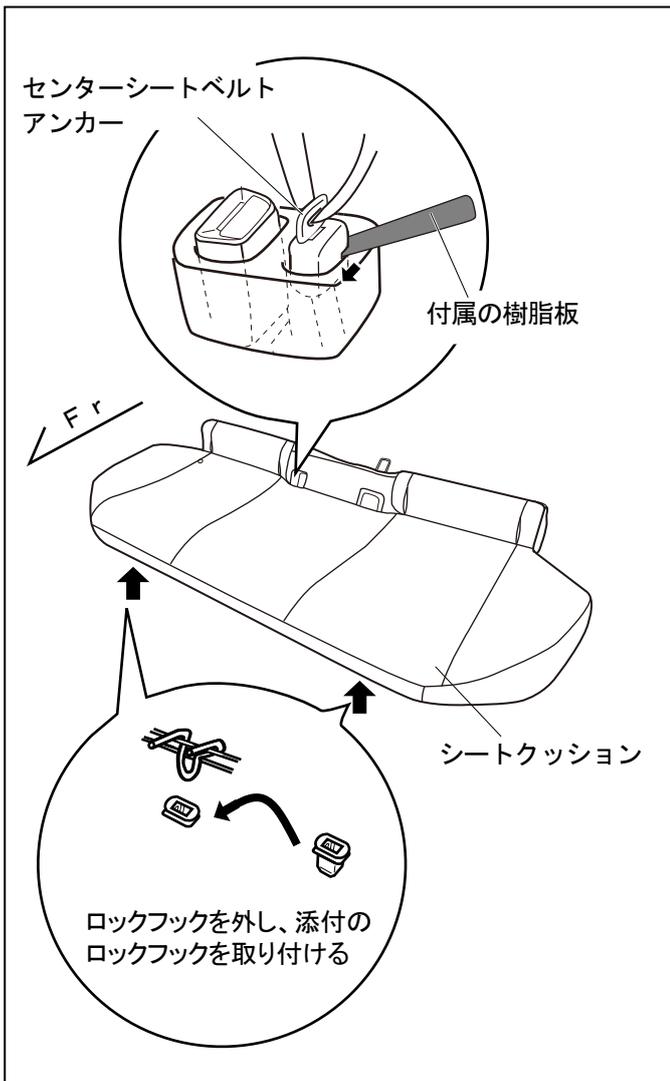
ラベルの記載
『リヤシートクッション』



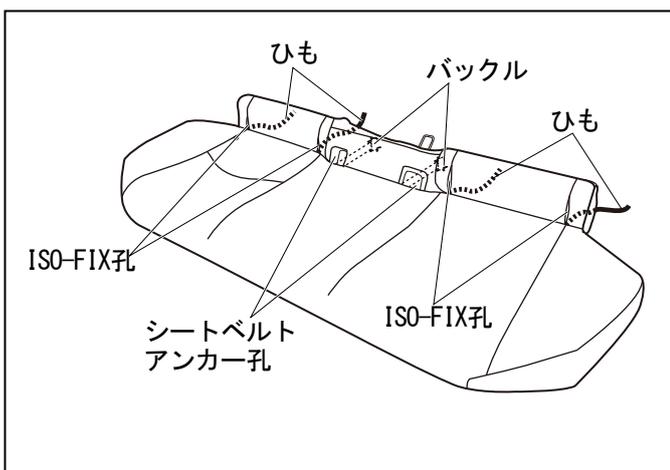
HV車

ラベルの記載
『リヤシートクッション』





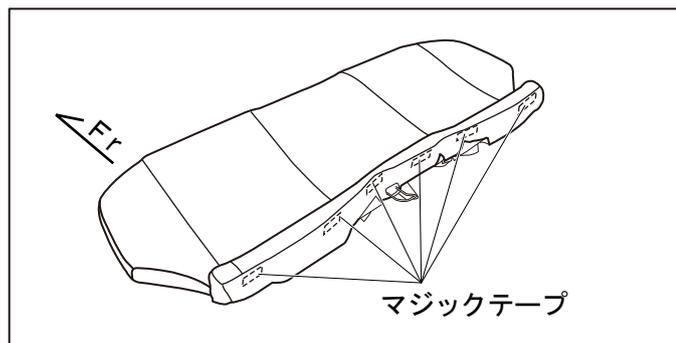
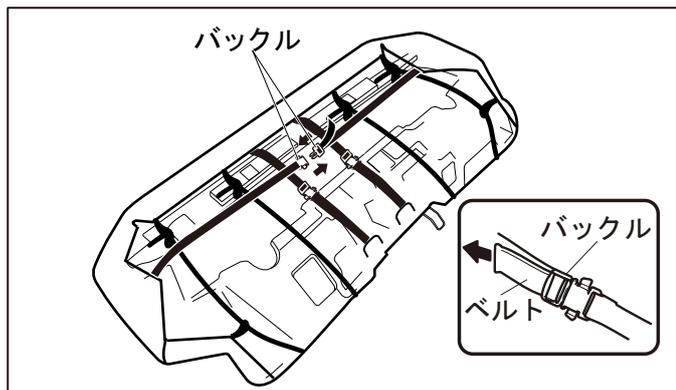
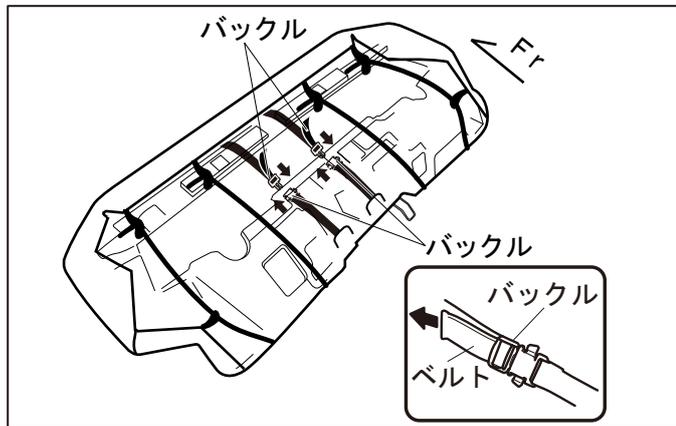
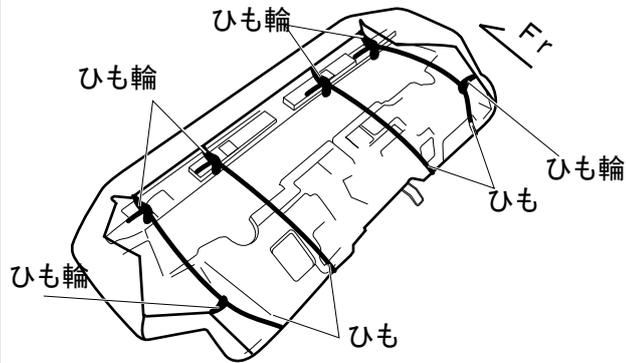
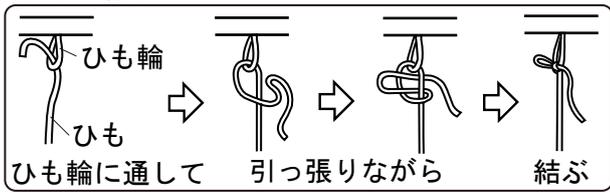
1. 付属の⑨樹脂板を使用し、センターシートベルトアンカーを外す。
2. リヤシートクッション前方を持ち上げ、フックを外す。
3. シートクッションを前方へ引っ張り外す。
4. リヤシートクッションロックフックを車両から取り外し、添付の⑧リヤシートクッションロックフックを取り付ける。



5. ラベルを確認し、シートクッションに前側より⑦カバーを被せる。
6. ISO-FIX孔へひも(4ヶ所)を通し、シートクッション裏側へ引っ張り出す。
7. シートベルトアンカー孔へバックル(2ヶ所)を通し、シートクッション裏側へ引っ張り出す。

〈シートクッション裏側図〉

ひもの結び方



8. シートクッションの裏側を上にする。

9. 後側のひも(2ヶ所)を前側のひも輪(2ヶ所)へ
 通し結ぶ。
 後側外側のひも(2ヶ所)を外側のひも輪(2ヶ所)
 へ通した後、前側のひも輪(2ヶ所)へ通し結ぶ。

10. 前後のバックル(4ヶ所)を嵌合し、ベルトを
 引いて締める。

11. 左右のバックル(2ヶ所)を嵌合し、ベルトを
 引いて締める。

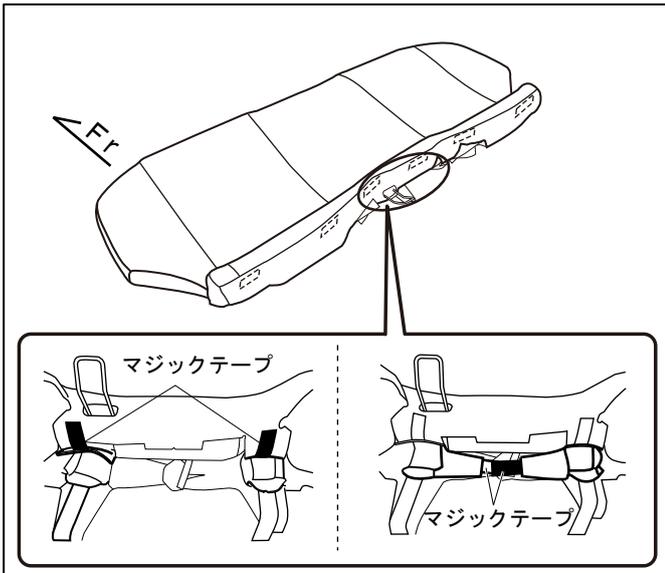
12. シートクッション表側を上にする。

13. 後ろ側のマジックテープ(6ヶ所)をとめる。

⚠ 注意
 マジックテープは、カバーを車両シートの形状
 に合わせながらとめて下さい。

14. シートクッションを復元する。

⚠ 注意
 センターシートベルトアンカーはシートバック
 カバーを取り付け後、復元してください。

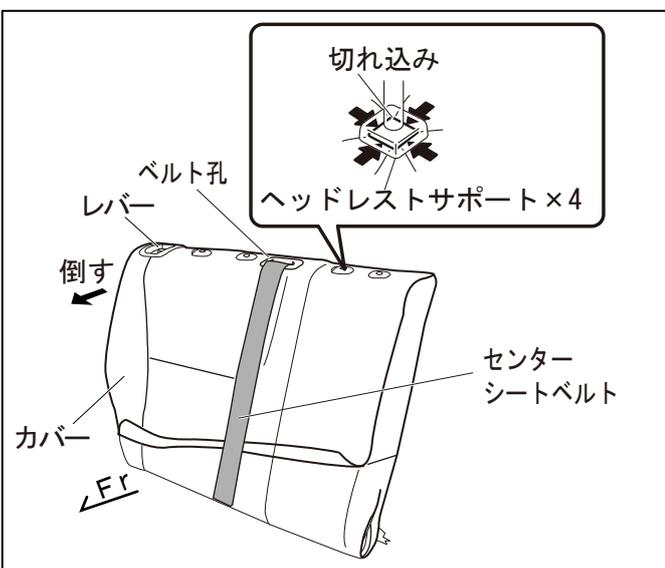
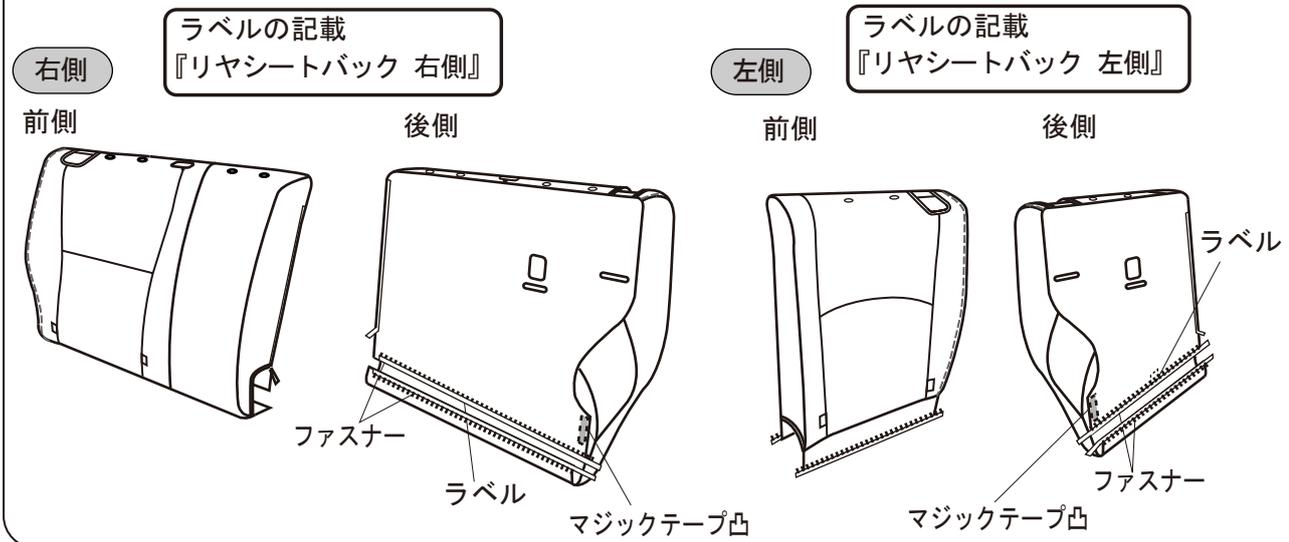


14. マジックテープ（2ヶ所）シートクッション裏にとめる。

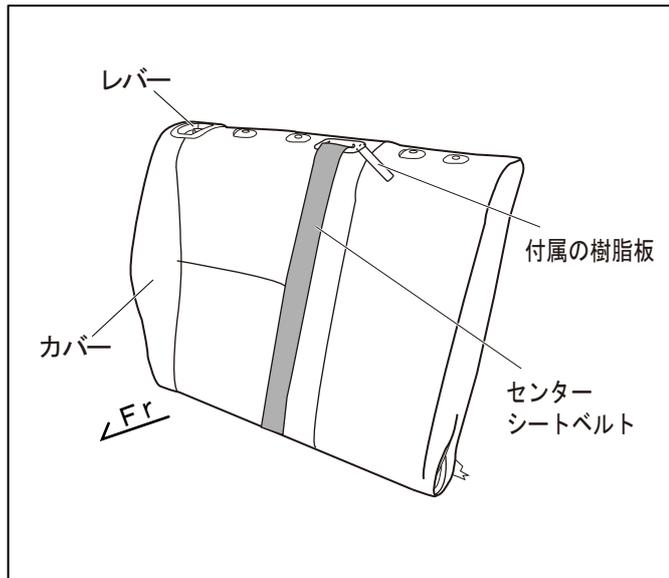
15. マジックテープ凸凹を合わせとめる。

□リヤシートバックカバーの取り付け

【形状図】



- 右側
- ⑥カバーRHのベルト孔にセンターシートベルトを通す。
 - レバーを引いてシートバックを少し倒し、支えながら、シートバックにカバーを被せる。
 - ヘッドレストサポートの下にカバーを押し込む。

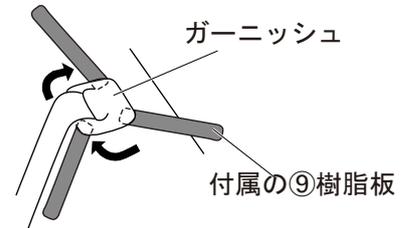


4. 付属の⑨樹脂板を使用し、センターシートベルトガーニッシュの下へカバーを押し込む。



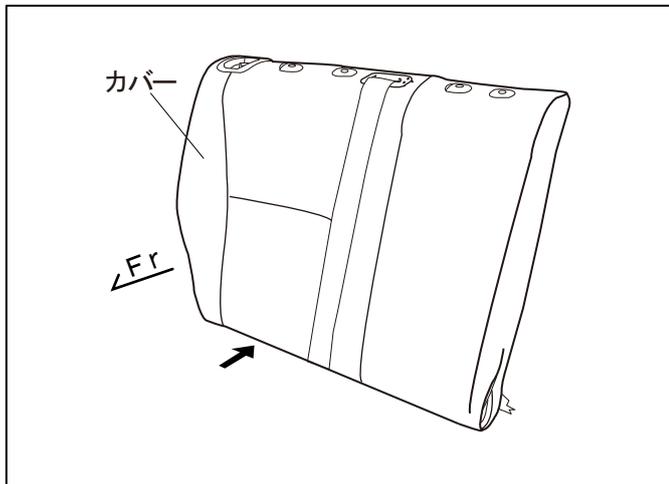
アドバイス

センターシートベルトガーニッシュの下へ付属の⑨樹脂板を差し込みながら作業を行うとカバーを押し込みやすくなります。



⚠ 注意

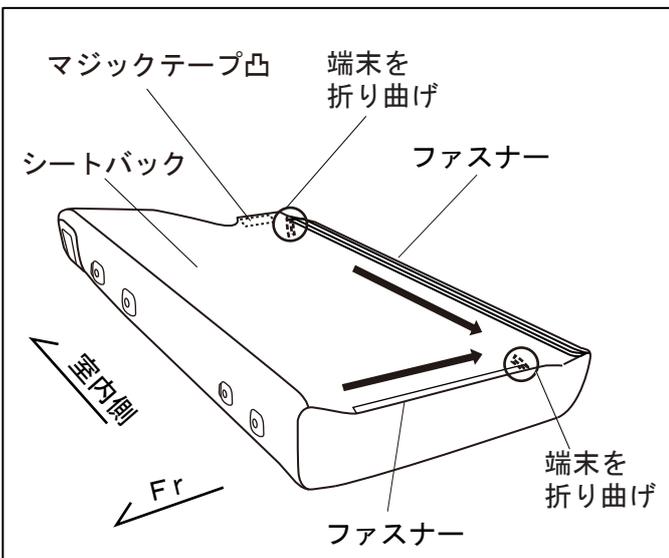
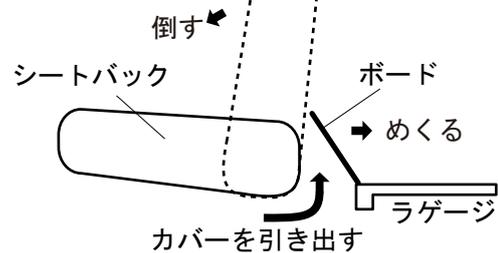
レバーの下にはカバーを入れないで下さい。



5. ⑥カバーRHを、シートバックとシートクッションの間に押し込む。

6. シートバックを全て倒し、後ろ側のボードをめくり、カバーを引き出す。

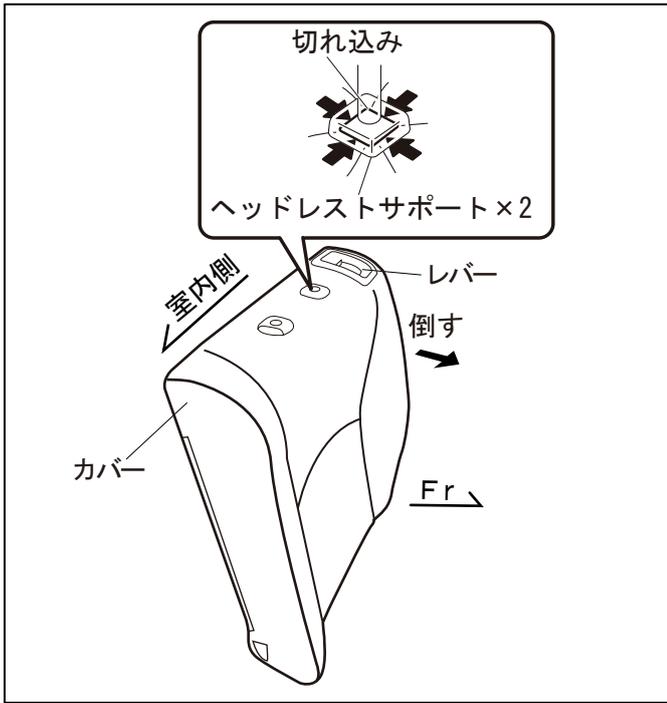
Fr



7. ファスナー(2ヶ所) を閉め、余った部分をカバーの中に入れ込む。

8. マジックテープ凸(1ヶ所) をシートバックにとめる。

9. シートバックを起こす。



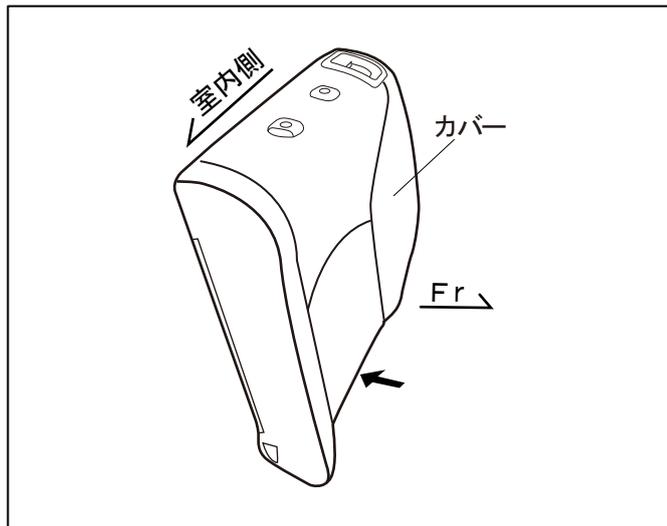
左側

1. レバーを引いてシートバックを少し倒し、支えながら、シートバックに⑥カバーLHを被せる。

2. ヘッドレストサポートの下に⑥カバーLHを押し込む。

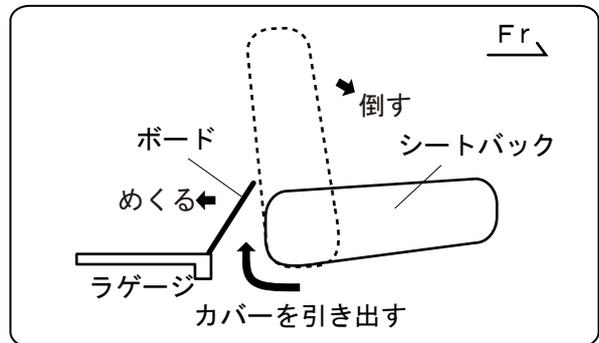
⚠ 注意

レバーの下にはカバーを入れないで下さい。

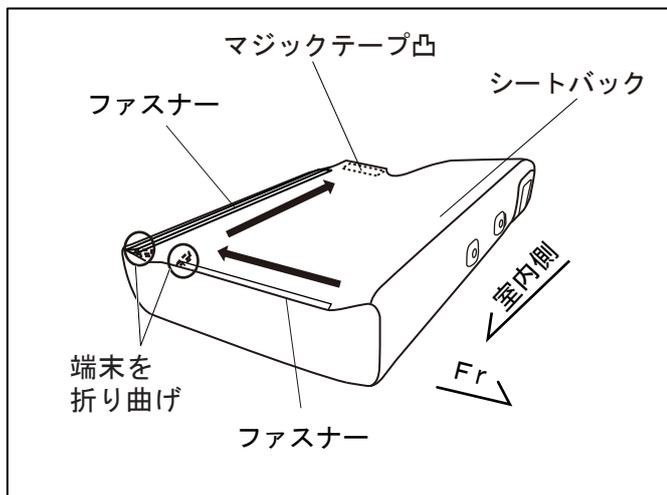


3. ⑥カバーLHを、シートバックとシートクッションの間に押し込む。

4. シートバックを全て倒し、後ろ側のボードをめくり、⑤カバーを引き出す。



5. ファスナー(2ヶ所) を閉め、余った部分を⑥カバーLHの中に入れ込む。



6. マジックテープ凸(1ヶ所) をシートバックにとめる。

7. シートバックを起こす。

取り付け完了後の確認

1. 革調シートカバーの付属等が可動部分（シートスライド、リクライニング機構等）に掛かっているか確認してください。
2. 車両シートを可動させ車両機能に異常がないか確認してください。

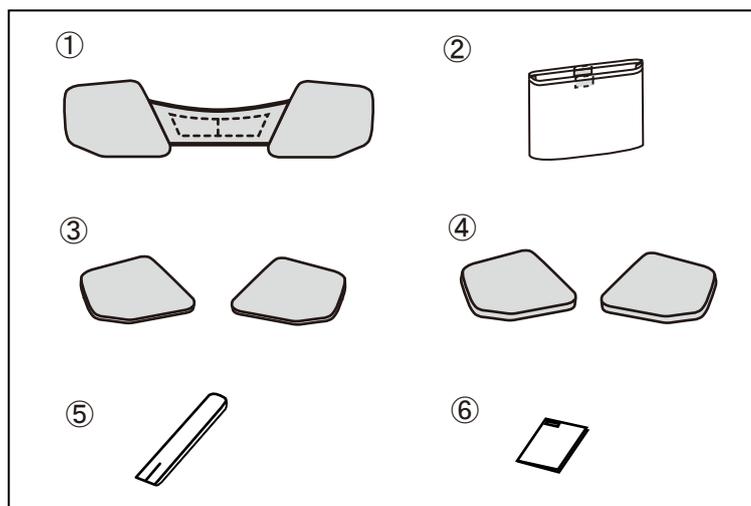


革調シートカバー

取扱書

この度はTRD 革調シートカバーをお買い上げいただき、ありがとうございました。
 ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、記載された内容に従って正しくご使用ください。
 本書は紛失しないよう車の中に保管してください。
 なお、本品を他のお客様にお譲りになるときは必ず本書も合わせてお渡してください。

■ 添付部品



No.	添付品名	個数
①	腰パッド	1
②	調整パッド収納袋	1
③	調整パッド(5mm厚)	2
④	調整パッド(10mm厚)	2
⑤	樹脂板	1
⑥	取扱書	1

■ 取扱い上のご注意



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。



注意

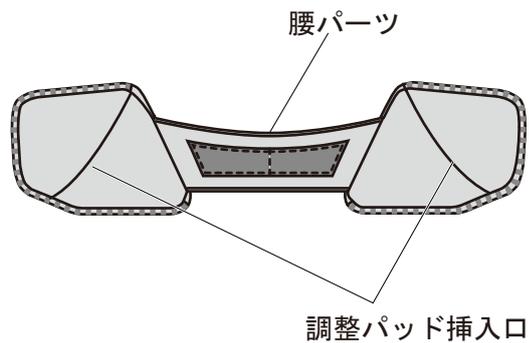
この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと人が傷害を受けたり、物的損害の可能性のある内容について書かれています。



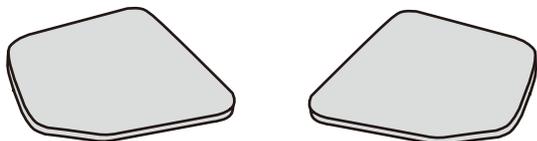
アドバイス

スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

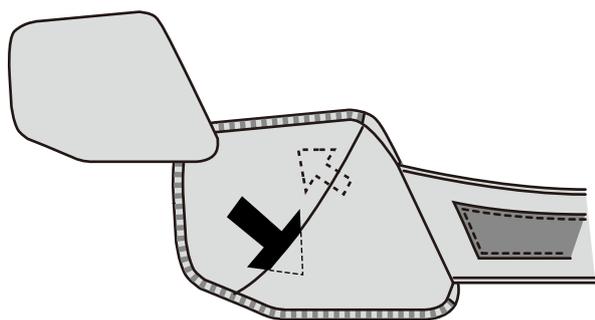
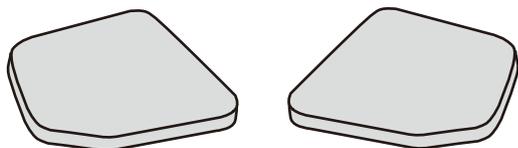
【腰パッド本体裏面図】



調整パッド5mm厚×2



調整パッド10mm厚×2



パッドの調整

- ①腰パッド裏面に調整パッドを端に合わせて入れ、パッドの厚みを調整する。

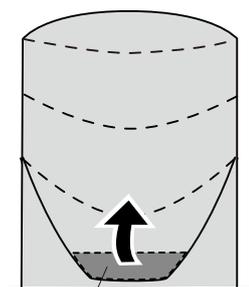
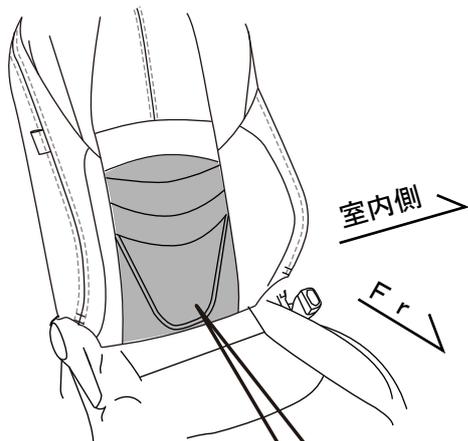
⚠ 注意

パッドの調整は片側につき最大15mmです。
調整パッド挿入口に調整パッドを入れる時、無理にカバーを広げないようにしてください。カバーが破れる場合があります。

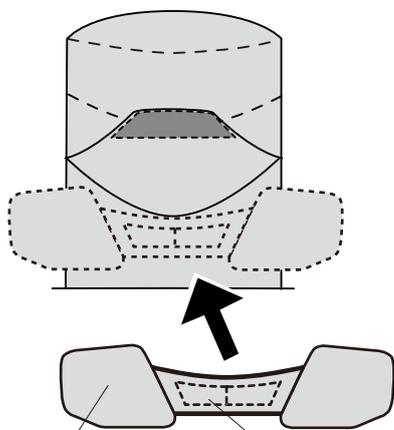


アドバイス

調整パッドに表裏はありません。
カバーの形状に合わせて、調整パッド挿入口へ入れてください。

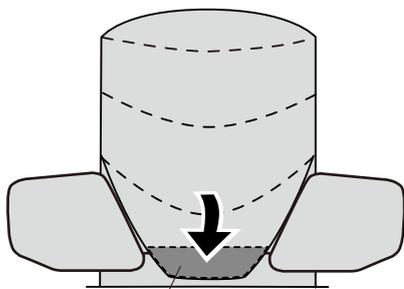


マジックテープ



腰パッド

マジックテープ



マジックテープ

腰パッドの取り付け

①シートカバーのマジックテープを外す。

②腰パッド裏面のマジックテープをシートカバーにとめる。

⚠ 注意

車両外側にラベルが見える様に取り付けて下さい。

ラベル



③シートカバーのマジックテープをとめる。

取り付け完了後の確認

1. 革調シートカバーの付属等が可動部分（リクライニング機構等）に掛かっていないか確認してください。
2. 車両シートを可動させ車両機能に異常がないか確認してください。

取り扱い上の注意事項

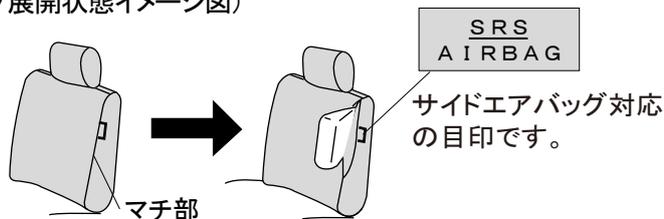


警告

革調シートカバー（フロント）の取扱いについて

- ・純正革調シートカバーは、サイドエアバッグ対応タイプとして機能に支障をきたさないように、マチ部の縫製や生地等がエアバッグ展開時に破断するように処理を施しています。従いまして、使用時に著しいカバーのズレが発生した場合は、お近くの販売店にご相談ください。シートカバーをズレたまま使用したり、重ねて使用しますとSRSサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な障害に及ぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ・マチ部は特殊縫製系を使用していますので、ほころびた場合等は、お客様自身で縫って修正しないようにしてください。

（左側のエアバッグ展開状態イメージ図）



取り扱い上の注意事項

⚠ 注意

- ・腰痛や疲労、筋肉や皮膚など症状には様々な要因があります。本品はこれらの症状の軽減や治療効果を保証するものではありません。
- ・本品の使用により身体に痛み、違和感、疲労その他の不調が生じた場合ただちに本品の使用を中止してください。
- ・本品に何らかの改造をすると、保証対象外になりますので改造はしないでください。また、分解して口に入れたり、飲み込んだりしないでください。
- ・本品のジェルの特性上、高温時の蒸れや低温時の冷たさを感じる場合があります。その際はジェルが適温になるまで時間を置くことを推奨します。
- ・本品の推奨使用環境温度は80℃～-10℃となります。使用環境温度において-10℃を大きく下回ると本品のジェルの特性上、ジェル部が固くなるおそれがあります。固くなったままでも使用出来ますが製品本来の機能が大幅に低下する為、使用環境温度を-10℃より上に保ち、ジェルが柔らかくなった事を確認の上使用ください。
- ・過度に寝た状態での運転姿勢で本品を使用しますと、本来の機能が発揮されないおそれがあります。
- ・装着状態で本品を手などで無理に引っ張らないでください。破損がおこる可能性があります。
- ・揮発性の溶剤(シンナーやアルコール)に触れると表皮が劣化するおそれがあります。もし触れることがあればすぐに拭き取ってください。
- ・本品に火気を近づけたり、刃物等の先のとがったものを当てたりしないでください。穴があいたり、破損の原因となります。
- ・本品は防水生地ではありませんので、水気を含んだり、汚れが付着した場合には速やかに乾いた布等で拭き取り、必要に応じ風通しの良い場所で乾燥させてください。



アドバイス

- ・多少の汚れは、布等で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を浸した布等で汚れを落としてください。
市販のクリーナー等を使用する場合は、目立たない場所で試してから使用ください。
使用に際しては、クリーナーの注意事項を十分に確認の上使用ください。
- ・シートをフルリクライニングする際はマジックテープを外してください。
- ・リクライニング時には身体を腰パーツから少し離してください。
- ・本品を取り外して、洗濯はしないでください。
- ・取り外して折りたたむ際、シワや変形を防止する為にきれいにたたんで収納してください。
- ・本品に掃除機等をかける場合は、腰のパーツを取り外しますと作業を容易に行えます。